「キャリア・パスポート」を活用した授業例

1. ○○中学校　特別活動
2. ３学年　学級活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ウ　主体的な進路の選択と将来設計

1. 題材「18歳の私へ」
2. 事前の指導（活動）

▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を準備しておく

▶実態に応じて卒業アルバムの活用も考えられる

▶生徒自身による９年間の軌跡を思い起こすグループワークを行ってもよい

1. 本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ▶本時のねらいを確認  「18歳の私へ手紙を書こう」  　～小学校１年から中学校３年までの９年間を振り返る～  ▶小学校生活や中学校生活で心に残っていることを、クラス全体で交流 | ▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分を振り返り、意欲的に18歳の自分へメッセージを送ろうと取り組めるように支援する |
| 展開 | ▶友達と共有した思い出などを踏まえ、自分自身の小学校６年間と中学校３年間を振り返る  ・頑張ったことなどを３年後の自分に伝える気持ちで  自分に向けて記入する  ▶自分の成長を振り返った上で、将来の自分を想像する  ・どんな人になっていたいか  　・そう思った理由やきっかけ  ▶記入した内容についてグループで話し合う  　・９年間で成長したと感じたことや、将来の自分のイメージを伝え合う  　・将来の自分のイメージに近づくためにどんなことが大切か話し合う  　・グループでの話し合いの後に、クラス全体で共有する | ▶記録のみの時間とならないように留意する  ▶じっくりと、自分と向き合う時間を大切にしたい  ▶９年間での成長を実感し、将来の自分をイメージすることで前向きに取り組む態度を育成する  ▶肯定的に認め合う雰囲気を大切にする  ▶グループでの話し合いを通して自己理解が深まるように声をかける |
| 終末 | ▶18歳の私へ向けて手紙を書く  　・将来の自分の姿を具体的にイメージして、大切にしようと思うことなどをもとに手紙を書く | ▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する |

1. 事後の指導（活動）

▶小学生の時に書いていた将来の自分へのメッセージと読み比べてみる。

▶先生や保護者からメッセージをもらい、読んで気付いたこと、考えたことを記入する。

▶実際18歳になった時には、ここで書いたことを読み、自分の言葉に力をもらえるようにしたい。